

新二まつりに行ってきました

11月12日（日）に新庄第二小学校にて、「第35回新二まつり」が開催されました。

まつりでは、子どもたちによる学習発表や卒業生によるタイムカプセルの開封式があった後、地域住民や消防団の方々等にお越しいただき、様々な体験活動が行われました。新庄公民館としても公民館サークルに御協力いただき、「親子茶道体験」を実施しました。1時間半という限られた時間の中でしたが、伝統文化についての学びを深めていただくとともに、十分に楽しんでいただくことができたのではないのでしょうか。



令和5年度ニュースポーツ教室が開催されます

運動不足になりがちな方を対象に、だれでも気軽に楽しめるニュースポーツの体験教室を開催します。参加費は無料ですので、是非お気軽に御参加ください。

開催日	時間	種目	場所
12月10日（日）	昼間の部（午後1時30分～午後3時）	ボッチャ	田辺東部小学校体育館
12月18日（月）	夜間の部（午後7時～午後8時30分）	モルック	田辺スポーツパーク室内練習場
1月25日（木）	昼間の部（午後1時30分～午後3時）	フライングディスク	田辺スポーツパーク体育館

■定員 各日とも30名

■持ち物等 室内用運動靴（屋外種目は屋外用）、運動のできる服装、タオル、水分等

■申込方法 参加申込書に住所、氏名、電話番号等を記入し、FAX、Eメール、郵送または持参により下記までお申し込みください。定員になり次第締め切ります。

〒646-0061 田辺市上の山一丁目23番1-1号田辺スポーツパーク管理事務所内

田辺市教育委員会スポーツ振興課

TEL：0739-25-2531 FAX：0739-25-0387

資源回収について

12月の古紙拠点回収日は、

13日（水）、27日（水）です。

○「紙紐」でくくってください。

○「回収日の朝」に出してください。

「ビン・缶類」につきましては、毎日持ち込み可能ですが、深夜・早朝の持ち込みは近隣の方への御迷惑となりますので、禁止しています。

皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

移動図書館「べんけい号」運行日程

場所	日	時
新庄公民館前	12月1日（金）	16:00～16:30
	1月5日（金）	16:00～16:30

※貸出カードを御持参ください。

新庄公民館サークル
俳句同好会 習作（霜月）

色づきし柿や鴉の一直線
 ばったんこ時ゆるやかに過ぎにけり
 外人の多き古道に柿たわわ
 黙らのひもじく冬眠の遠く
 大庭木小暗き下の石路の花
 一枝を羽織る厨の今朝の冬
 電話かけかけられたりと秋日和
 かまさりのガラスを透かし吾を見る
 録さらに翳すあはれや枯蟻螂

浜名美乃恵
 岬あや子
 森敏純
 山中晴美
 山本さざ子
 山本容子
 山本容子
 愛洲みよし
 中谷悦子
 松本武千代

令和5年

12月

師走/DEC

新庄公民館 だより

発行：田辺市新庄公民館

館長：小山裕史 主事：田上拓未

〒646-0011 田辺市新庄町2031番地の3

TEL:0739-22-1606 FAX:0739-23-1648

公民館区内統計情報（令和5年10月末）

【人口：5,679 世帯数：2,924】

秋の文化祭を開催しました

10月28日（土）、29日（日）に「第39回秋の文化祭『展示の部』」、11月18日（土）には「第39回秋の文化祭『発表の部』」をそれぞれ開催しました。

『展示の部』では、サークルの方々の作品、一般募集した方々の作品展示やいけばな体験コーナー・お茶席などが行われました。

『発表の部』では、サークルの方々による演奏・歌・踊りなどに加えて、新庄杜氏唄保存会の皆さんによる「新庄杜氏唄（市指定無形文化財）」も披露され、大盛り上がりうちに終えることができました。

※新庄杜氏唄については、4ページでも詳しく紹介しています。



新庄地域 みんなの集い(第3回)を開催しました

11月10日（金）に「新庄地域 みんなの集い（第3回）」を開催しました。御参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今回は、新庄地域にある各種団体の活動内容を確認してみました。活動内容を具体的に話し合ってみると、どういう目的で行っている活動なのかよく分からない、他団体の似ている活動部分と重ね合わせることで負担が軽減できるのでは？など、活発な意見が出て、有意義な話し合いとなりました。

今後も、「将来も住みつづけたいまち」の実現に向けて、具体的な活動を行うための段階的な話し合い等を予定しています。



*次回の「みんなの集い（第4回）」は、令和6年1月12日（金）午後7時30分～を予定しております。準備の都合上、参加を希望される方は、田辺市自治振興課（0739-26-9911）へお電話にてお申し込みください。



田辺市教育委員会 生涯学習課 公民館係
<http://www.city.tanabe.lg.jp/shougai/kouminkan/>

新庄中学校から

○少年メッセージ2023 入賞

2作品ともに、経験したことから、前に進む気持ちを表したメッセージです。金賞の作品を紹介します。

- 西牟婁地方金賞 3年 米地 和輝「人と言葉」
- 西牟婁地方銀賞 2年 若勇 百香「私の左目」

言葉とはヒトがコミュニケーション能力を進化させるためにできたものだとされている。突然だが、あなたは人に悪口を言ったり、言われたりしたことはあるだろうか。僕は正直、言ってしまったことも、言われたこともある。そのせいで、不登校になってしまった時だってあった。クラスメイトから悪口を言われ始めた時の僕は我慢していればすぐに終わるだろうと思いき、家族や先生に相談したりはしていなかった。けれど、いじめはなかなか終わらず、悪口の他にも仲間はずれにされる事も増えてきた。そして、人と話したり教室に入ることすら怖くなってしまい、学校に行くのが嫌になり、不登校になってしまった。

しかし、今の僕は元気だ。教室に入ることも怖くないし、人と話すことにも慣れてきた。それは一体なぜか、それは周りの人からの援助や自分に自信を持っておかげだろう。

まず、周りの人からの援助について語ろう。僕は小学生の時、不登校になってから家族や先生に相談してみた。すると先生は、僕の好きなようにやらせてくれた。例えば、無理に教室に行かず他の教室で勉強や読書などをさせてくれた。そして、僕自身もこのままだとこれからも、人と接する事が苦手なままになってしまうのではないかと不安だった。けれど小学校の時の校長先生が、「将来どうなるかは今すぐに決まってしまう事ではない。きっと大丈夫。」と言ってくれた。僕はこの言葉のおかげで希望が持てた。

僕は、中学校に入学した後からまた教室に行き始めた。小学校が同じ人もいて、何を言われるか不安だったけれど、話してみると自分が不登校になっていた事も感じさせないくらいに前のように接してくれた。これらのおかげで僕は、教室の恐怖心も無くなったのだろう。

次は自分に自信を持てた事についてだ。僕は自分に自信を持つ事を、人にどれだけ悪口を言われようと、自分をほめまくる事だと思っている。人に「バカ」「ブス」などと言われた時に自分をほめてみよう。「自分はなんて天才でイケメンなんだろう。」と、するとしだいに悪口を言われたことすらどうでもよくなる。このおかげで自分は今、人との会話にも慣れてきたのだろう。あの時助けてくれた人がいたから僕は今、元気に登校できている。僕も当時の僕みたいな人を助けてあげられるようになりたい。そのためにも人と話す時、相手はこんな事をいわれたら嫌がるだろうか、傷ついてしまうだろうか、と考えながら会話をすることができるようになりたい。

母は、初めは僕が教室に行かず、別の部屋で過ごす事に、もっと人と話せなくなってしまうのでは、と不安を感じていたらしい。けれど、そんな不安があっても、僕の好きなように過ごさせてくれた母には感謝し

てもしきれない。

近年、不登校になってしまっている学生がどんどん増えている。その理由で多いのは、クラスメイトからの誹謗中傷や仲間はずれなどのいじめである。初めは軽いいじめでも、次第にエスカレートしてしまい、過度ないじめ、つまりいじめに変わってしまう事がある。言葉とは、人を励ましたり勇気を与える事もできる。けれど使い方を間違えてしまうと、人を傷つけてしまったり、もっと酷い時には、死なせてしまう事もある。僕は、言葉は本当に刃物に似ていると思う。言葉を使う時には、相手がどんな気持ちになるかを考えて使う事が大切だ。そして、いじめの被害者の周りの人の対応がその人の人生の分岐点になってしまう事も忘れないでほしい。周りの人までいじめに加担してしまったり、その人はもう立ち直れなくなってしまうかもしれない。人を助ける事は結局、巡り巡って自分を助ける事にも繋がると思う。助け合おう。ヒトはそうやって生き残ってきた生き物だから。

○第54回田辺俳句大会 入賞

2年生国語科で取り組んだ俳句を田辺俳句大会に出品しました。

【連盟賞】

大自然 風鈴が鳴る 祖母の家 (塩路友梨)

【努力賞】

- ひまわりが 見つめる空は 晴れ渡り (猪野帆花)
- 友の声 花火の音に かきけされ (前田都希)
- 夕立が 過ぎると香る アスファルト (山本結衣)
- 夏休み 集合場所は オンライン (ローズサラ)

○新生徒会役員

11月1日(水)新役員認証式を行いました。生徒全員が、生き生き学校生活を送れる環境作りを目指して、主体的な活動を期待します。

- 会長：谷中 幸太
- 副会長：前田 都希
- 副会長：井藤 凜太郎
- 書記：岡崎 美月
- 会計：伏野 悠仁

○12月の主な行事予定

- 1日(金) 期末テスト1日目 通学指導
 - 4日(月) 期末テスト2日目
 - 5日(火) 期末テスト3日目 避難訓練・防災学習
 - 7日(木) 県学習到達度調査
 - 9日(土) 世界遺産学習サミット ポスターセッション
 - 20日(水)～21日(木) 3年生三者面談
 - 22日(金) 2学期終業式
- ※予定が変わることもあります。

小学校の様子は、各校区で配布される

『藻の花』 新庄小学校発行
『新二小だより』 新庄第二小学校発行

を御覧ください。

未来へつながる 田辺市道

わんぱく保育所便り

日が落ちるのもすっかり早くなり、夕暮れ時には寒さが身に染みる季節となりましたが、子どもたちは「そんなことお構いなし!」と言っているかのように元気いっぱい遊んでいます。

さて、11月は、たくさんの行事がありました。2日には、保育所に今年も獅子舞が来てくれました。小さいクラスの子たちの中には大泣きしている子もいましたが、迫力にびっくりしながらも夢中になって見ていたり、年中年長組の子どもたちは大喜びで獅子舞の中に入れてもらったりと、楽しいひとときを過ごしました。



5日には、3年ぶりに人形劇団プークがやってきてくれました。NHKのテレビでもやっている人形劇だけあって、本当に素晴らしい人形劇で、子どもたちもみんなくぎ付けで見入って、とても楽しそうでした。



13日には、ぼぶら組(年長)の子どもたちが、バスに乗ってかつらぎ町へりんご狩りに行ってきました。あいにくの雨でしたが、子どもたちはりんごのもぎ取り方を教えてもらおうと、嬉しそうにリュックがパンパンになるほどたくさん収穫していました。自分の分を取り終わると、保育所で待つ下のクラスの友達へのおみやげの分も収穫して、みんな笑顔で帰ってきました。

徐々にインフルエンザもはやり始めてきています。体調管理に気を付けながら、今月も子どもたちが元気に楽しく過ごせるようにしていきたいと思えます。

わんぱく学童保育所通信

日が暮れるのが早くなりましたが、暗くなるまでの間、子どもたちは所庭で元気に遊んでいます。学校行事のために早く下校した日には、久しぶりに裏山で遊ぶこともできました。

13日には、りんご狩りに行ってきたぼぶら組さんが、学童にもりんごと柿をおみやげにくれ、みんな喜んで持ち帰っていました。

2学期も残り1月足らずとなりました。最後までみんなで元気に過ごせるよう気を付けていきたいと思えます。

新庄のここ知ってる?

酒造りに従事する職人を杜氏(とうじ)と言いますが、江戸時代以来、山間部や海港地から冬季に集団で酒造地に出稼ぎに行く慣行がありました。これを出身地によって丹波杜氏や但馬杜氏などよび、全国に50以上の杜氏集団がありました。

新庄杜氏もその一つで、県内では唯一の例です。

第5弾 ～新庄杜氏唄～

新庄杜氏の起源は不明ですが、明治以前から存在したといわれ、地元田辺をはじめとして、新宮、海南、淡路、伏見などまで出かけていたようです。

杜氏唄とは、清酒の醸造が手作業で行われていたころ、それぞれの作業内容に伴って唄われた労作唄です。醸造は、冬の寒い時期に早朝から深夜まで行われる大変な作業で体力と気力のいる仕事だったようですが、杜氏唄を唄うことで、疲労や眠気を和らげるとともに、その歌詞や曲により作業工程の管理(例：3番まで唄ったら次の作業を始める)もしていたようです。

最盛期(昭和初期)には、200人以上の杜氏がいたといわれますが、昭和10年代になると製材業などが盛んになったこともあり、杜氏を職とする人は徐々に少なくなり、昭和30年代から醸造の機械化が進んだため、一度は完全に途絶えました。

昭和60年に新庄公民館が建てられたとき、杜氏として働いた経験のある人たちが「新庄杜氏唄保存会」を結成しました。現在では、会員の中に杜氏の経験がある人はいませんが、それでも先人の県内外での活躍を今に伝えるため、年に1回、新庄公民館秋の文化祭で公演を行うなど、その保存・伝承に向けて取り組んでいます。現代版にアレンジされた寸劇とともに笑いあいの楽しい杜氏唄を披露してくださっていますので、今年来場されなかった方も来年は是非御来場ください。

出典：田辺市の指定文化財(田辺市教育委員会：平成19年3月発行)

